

1. (3) ④3) UR賃貸住宅等における園芸活動の展開等に関する検討業務

委託者：独立行政法人都市再生機構 技術・コスト管理部

1. 業務目的

みどり豊かな屋外空間は、UR賃貸住宅の特徴の一つと言える一方で、明るさや華やかさに欠ける側面もある。UR賃貸住宅の居住者の高齢世帯の増加、また、ファミリー層の入居による活性化やミクストコミュニティの必要性を考慮すると、花物等の園芸植栽やガーデニング等に関するサービスを効果的に導入することにより、団地美化や健康、安全安心につながるような、より付加価値の高い住まいへと改善していくことが必要と思われる。

本業務では、園芸講習会等のソフトサービスの試行団地での取り組みやこれらの調査、検討を通して、園芸活動をUR賃貸住宅等へ広く展開し、付加価値を高めていく方策を検討する。

2. 業務の概要

(1) UR賃貸住宅等への園芸活動の展開に向けたPR方策、ツール等の企画検討

- ①UR賃貸住宅等への入居キャンペーン等におけるPRツール及び外部向け入居PR資料の作成
- ②団地における園芸活動の展開・支援のための企画提案、ベランダ（個人）や団地共用部分（グループ）等を活用した園芸活動を支援・PRするための表彰制度等の企画提案
- ③社内向け技術研修、UR内部研修のための講義及び園芸関連の実技指導

(2) 園芸に関する講習会等のソフト面のサービスをサポートする仕組み等の検討

- ①広く展開し持続可能となるUR外部の企業・団体・大学等との連携方策等、内部の仕組みづくりに向けた検討
- ②運営、展開のための手引きの作成（パワーポイント等）
- ③ベランダや団地共用部分を活用した園芸活動の展開方策の検討

(3) 園芸講習会等に関する参加者へのアンケート及びヒアリング調査

- ①試行団地における園芸に関する講習会等のアンケート及びヒアリング調査

園芸活動等の導入が居住意識へ及ぼす効果の分析のため、シーリアお台場東京都港区)、幕張ベイタウン地区（千葉県千葉市）においてアンケート及びヒアリング調査の実施（各1回）。

- ②団地において付加価値を高めるための効果分析及び活動内容等の検討
 - 園芸作業等の導入が居留意識へ及ぼす効果の分析、入居の促進、退去の抑制につながるサービスや活動内容の検討
- ③試行団地以外の他団地への展開に向けた検討
 - 在京地区3団地における課題の抽出、自治活動等との連携、運営方法等についての検討